

## 平成18年度事業報告

### 【I】 歴博の調査研究援助活動等への援助

委任経理金 (100万円)

### 【II】 歴史民俗関係の図書等の発行・頒布

#### (1) 歴博総合展示案内の発行・頒布

#### (2) 歴博企画展図録等の発行・頒布

① 日本の神々と祭り (3月21日～5月7日)	3,000冊
② 佐倉連隊にみる戦争の時代 (7月4日～9月3日)	3,535冊
③ 歴史のなかの鉄砲伝来 (10月3日～11月26日)	3,700冊
④ 館蔵資料図録 瓦コレクション	100冊
⑤ 縄文文化の扉を開く (平成11年度企画展) ※増刷	1,000冊
⑥ 佐倉の軍隊 ※増刷	2,000冊

#### (3) 歴史系総合誌「歴博」の発行・頒布

136～141号 各1,000冊

#### (4) 絵葉書等の発行・頒布

歴博館蔵品絵葉書	16,000枚
歴博館蔵品絵葉書 (2枚組)	8,000枚
オリジナル風呂敷	180枚
オリジナルしおり	320枚
オリジナルしおりセット	50セット

オリジナル根付	460個
オリジナル金太郎飴	800個

(5) 展示解説シート用ファイルの頒布

(6) 国立歴史民俗博物館研究報告等の発行・頒布

第125～第133集 各 200冊

(7) 歴博ブックレットの発行・頒布

28号 歴博で高校生が見つけた歴史の授業のヒント（新規） 2,000冊

### **[Ⅲ] ミュージアムショップの事業**

(1) 商品の仕入・販売

(2) 販売するグッズ等の開発及び販売促進等

(3) 全国の博物館図録の相互販売（136館 920種類）

### **[Ⅳ] 友の会事業の実施**

(1) 「友の会ニュース」の編集・発行・配布（隔月）

（維持会員・普通会员には、歴史系総合誌『歴博』を同封）

(2) 友の会講座 講師：いずれも歴博教員

- ① 古文書講座（初心者） 6月17日・7月1日・15日 計3回
- ② 江戸の遊芸講座 10月28日・11月4日（①・②）計3回
- ③ 古文書講座（中～上級者編） 月1回 計12回

(3) 「会員による見学会」（日帰り）

- ① 小見川（千葉） 5月14日（日）実施 参加者 41名
- ② 佐倉戦跡（千葉） 8月5日（土）実施 参加者 10名
- ③ 野田・関宿（千葉） 9月17日（日）実施 参加者 30名
- ④ 大島・小松川（東京） 1月11日（木）実施 参加者 38名
- ⑤ 市原（千葉） 3月11日（日）実施 参加者 57名

(4) 「歴史の旅」

瀬戸内海 歴史と民俗の旅 11月26日（日）～28日（火）

講師：久留島 浩（歴史研究系教授）

篠原 徹（民俗研究系教授） 参加者 27名

(5) 「学習会 軍隊と地域」

4月から月1回（7・8月は休み） 計10回

(6) 近現代史読書会 (『東京裁判』小島襄著を読む)

4月から月1回 計12回

(7) 近世史読書会 (『生きることの近世史』塚本学著を読む)

6月から月1回 計10回

(8) 東国探訪学習会

10月から月1回 計6回

(9) 館長特別講演会「南が語る古代日本の東西南北論」

明治大学博物館友の会との共催講演会

7月21日(金) 場所 明治大学リバティタワー 参加者 64名

講師：平川 南